宮崎大学　工学部	電気電子工学科
整　理　番　号	電力研究室-019

装置・機器

安全・作業マニュアル

Ver.3.0

装置・機器名	デシカント空調機
設置場所	超高圧実験室
購入年度	2009
マニュアル作成日	2013/2/27
マニュアル作成者/グループ	川﨑義仁/デシカント
責任者（通常・緊急）連絡先	
保守・点検・運用責任者 迫田達也	内線　7350
管理責任者 迫田達也	内線　7350
緊急連絡先	
工学部総務係（昼間）	58-2871 58-2874
守衛室（夜間）	58-2894
大学保健管理センター	58-3423

○装置・機器安全作業マニュアル

1、装置・機器の使用目的

デシカント空調システムによる特性の調査

2、装置・機器の概要・性能等

2.1　除湿ロータ

型式	SSR-0320H20-L
サイズ	φ320 × 200 mm
吸着材	シリカゲル

2.2　顕熱ロータ

型式	PAR-0320S20
サイズ	φ320 × 200 mm
材質	アルミ

2.3　チャンバ

材質	SS 材
塗装	耐熱塗装（塗装色：黒）

2.4　除湿ロータ駆動用ギヤードモータ

電源仕様	AC 200 V × 1 φ × 60Hz
モータ容量	0.025 kW
ロータ回転調整	スピードコントローラ

2.5　顕熱ロータ駆動用ギヤードモータ

電源仕様	AC 200 V × 1 φ × 60Hz
モータ容量	0.090 kW
ロータ回転調整	スピードコントローラ

2.6　温水コイル（再生ヒータ）

材質	
チューブ	銅管
フィン	アルミ
フレーム	SUS304
水頭圧損	0.004 mAq
配管寸法	銅管 15A ネオジ（温水入口・出口）

2.7　その他

ブロワ、インバータ、EMI フィルタについては別紙取扱説明書参照

3、使用手順と安全上の注意概要

3.1 使用手順

1）超高圧棟入口横にあるブレーカーとシャッター横の主幹ブレーカーを ON にする。

2）漏電ブレーカーを ON にする。

3）操作盤にあるスピードコントローラに通電させ、除湿ロータと顕熱ロータの回転数を調節する。

4）操作盤にあるインバータに通電させ、除湿工程、再生工程のブロワに与える周波数を調節する。

3.2 安全上の注意

1）使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用する。

2）使用前は必ずコードや電源プラグを点検する。

3）感電防止のための漏電遮断器が設置されていることを確認する。

4）感電防止のため配線等を変更する際は、全てのブレーカーを OFF にしてから作業すること。その際、インバータとスピードコントローラのつまみをゼロに戻し、電源を必ず OFF にすること。

5）本装置使用時は、他の測定機器にノイズが乗らないように必ずインバータにフィルターを接続すること。

6）実験使用状況の記入を行う。

4、使用後に必要なメンテナンス

本装置使用後は、約 5 ~ 30 分間再生工程を行うこと。